

アストロエコシステム（物質と生命）シンポジウム

宇宙—海洋—地球—生命の研究開発拠点形成に向けて

© 池下章裕

アストロエコシステム研究機構【宇宙—海洋—地球—生命の研究開発拠点形成】は、深宇宙と深海の邂逅（かいこう）から物質科学および生命科学の最先端の技術要素を結集し、地球と宇宙の持続可能な未来を築く新たな研究開発および人材育成の拠点形成を目指します。本シンポジウムは、その取り組みの一環として開催します。



2026年

7月10日（金）

13:00～17:30（12:00開場）

場所 国立研究開発法人海洋研究開発機構
横浜研究所三好記念講堂

神奈川県横浜市金沢区昭和町 3173 番 25

参加費 無料／事前登録制

お申込みは
こちらから



アストロエコシステム（物質と生命）シンポジウム

宇宙—海洋—地球—生命の研究開発拠点形成に向けて

プログラム

© 池下章裕

12:00 開場

13:00 開会挨拶

海洋研究開発機構 理事 小平秀一

13:05 宇宙戦略基金のこれまでの進捗と第三期公募

宇宙航空研究開発機構 宇宙戦略基金事業部 ゼネラルプロデューサー 渡辺重哉

コンビーナ：高野淑識（海洋研究開発機構） モデレータ：教授 古川善博（東北大学）

13:25 アストロエコシステム研究機構の概要

海洋研究開発機構 上席研究員 高野淑識

13:35 極域氷・氷質レゴリスのシームレスクライオ解析の開発に向けて

北海道大学 低温科学研究所 教授 木村勇氣

13:55 アストロエコシステムで目指す生命科学（叩き台）

海洋研究開発機構 上席研究員 高井研

14:15～14:20 休憩

コンビーナ：高井研（海洋研究開発機構） モデレータ：主任研究員 鈴木志野（理化学研究所）

14:20 Space Innovation and Humanity: 東京科学大学の取り組み

東京科学大学 地球生命研究所 所長・教授 関根康人

14:40 軌道上データセンターが拓く、宇宙 × 海洋の可能性

株式会社 DigitalBlast/株式会社 SpaceBlast Space Open Innovation Center

副部長 田中優一

15:00 快適・健康な宇宙生活を実現する宇宙 QOL 研究開発拠点の目指すもの

早稲田大学 創造理工学研究科 宇宙 QOL 研究開発拠点 機構長・教授 野中朋美

15:20～15:25 休憩

15:25 慶應義塾大学先端生命科学研究所におけるアストロエコシステム人材育成

慶應義塾大学 先端生命科学研究所 所長・教授 荒川和晴

15:45 海洋から宇宙へ、島津製作所の取り組み

島津製作所 産業機械事業部 ジオサイエンス部 部長・長崎大学客員教授 西村直喜

16:05 フロンティア領域での産業アーキテクチャデザイン：宇宙と海洋における産業のシステムデザイン

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 研究科長・教授 白坂成功

16:25～16:35 休憩

16:35 総合討論

モデレータ・講演者

16:55 総評・閉会挨拶

海洋研究開発機構 理事補佐 大河内直彦

17:00 グループフォト、名刺交換・懇談

後援：ベックマン・コールター株式会社、株式会社 DigitalBlast/ 株式会社 SpaceBlast、国立大学法人北海道大学低温科学研究所、株式会社堀場製作所、ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社、国立研究開発法人理化学研究所 バイオリソース研究センター、慶應義塾大学先端生命科学研究所、興研株式会社、株式会社マリン・ワーク・ジャパン、株式会社メルビル、メトロームジャパン株式会社、株式会社島津製作所、国立大学法人大阪大学産業科学研究所、サーモフィッシュャーサイエンティフィック株式会社、国立大学法人東北大学 大学院理学研究科、一般社団法人鶴岡サイエンスパーク